

## 4 福祉事業

### (1) 県費による事業

県単独の或は共済組合と合同して次のような福祉事業がおこなわれた。

#### ① 教職員美術展覧会

美術をとおして相互の親睦を図ることを目的として、福島市、須賀川市、会津若松市、富岡町の県内4方部で、9月13日の福島市を皮切りに各会場3日間にわたって開催された。

同じ教職員同志という気軽さも手伝って作品も多様化し、新しくふうのあとがみられる作品が多かった。

#### ② 教職員スポーツ大会

教職員の健康増進と友愛をはかるための福島県教職員スポーツ大会が第10回目を迎える。8月26日県内福島市他5会場で盛会裡に開催された。

競技種目は昨年と同じく陸上競技他9種目であったが、各地区的実情に合わせ、取扱うこととしたため、地域に適応した競技が随所にくりひろげられた。

#### ③ 退職教職員福祉懇談会

教職員の福祉の向上と、教育の振興をはかるには、いかにあるべきかの命題をもって、退職教職員福祉懇談会が8月26日、知事・教育長を囲んで福島市内で開催された。

集まられた50名の元教職員からは、現職中より得た貴い経験をもとに、在野における1民間人としてのきたんのない意見が活発に出され、知事・教育長も教育の振興と福祉の増進を約束した有意義な1日を過ごした。

#### ④ 成人病予防巡回検診

共済組合と県の共同事業であるため、事業内容については後述の共済組合と県費の共同事業に詳述する。

#### ⑤ 人間ドック

(4)、(5)の事業は教職員福祉事業中、最も大きな事業であり、県においてもその重要性を認め、共済組合との共同事業として実施した。

事業内容の詳細については、共済組合の事業を参照のこと。

#### ⑥ へき地学校教職員用洗濯機補助

交通条件および経済的・文化的条件に恵まれないへき地学校に勤務する教職員の保健衛生と生活の合理化を図る目的をもって、電気洗濯機を設置するため、県費の補助を行なった。

補助の対象は南会津郡桧枝岐小学校他11校で、県費の補助額をもとに共済組合が購入し、へき地校に勤務する教職員に貸与し、大変喜ばれた。

### (2) 県費と共済組合費による事業

#### ① 成人病予防巡回検診

40才以上の教職員を対象として、ガン・高血圧・心臓病の早期発見と早期治療を目的として、昭和40年度よりこの事業を開始し4年目を迎えた。

本年度は“一人でも多くの人が検診できるよう”にと、

大幅に検診会場を設定し、県内25ヶ所に県成人病予防協会の検診車を運行したが受診率は低調で、40才以上の教職員数に対する受診率45%、受診希望者に対する受診率80%であった。

検診会場及び受診者数は次のとおりである。

会場（市町村）	希望者	受診者
福島市	401名	379名
伊達郡 川俣町	53	46
保原町	131	95
二本松市	155	122
安達郡 本宮町	53	48
郡山市	370	353
須賀川市	160	123
白河市	243	193
東白川郡棚倉町	91	80
塙町	47	40
石川郡 石川町	95	71
田村郡 船引町	141	48
田村郡 小野町	44	35
南会津郡只見町	26	26
田島町	110	83
会津若松市	317	237
喜多方市	240	195
河沼郡 坂下町	160	121
大沼郡 金山町	31	23
いわき市（平）	295	283
（勿来）	125	146
（磐城）	124	88
双葉郡 富岡町	154	81
相馬市	104	89
原町市	244	173
計 25ヶ所	3,914	3,128

#### ② へき地巡回検診

へき地学校（県へき地教育振興会指定を含む）に勤務する教職員は、交通条件及び自然的諸条件に恵まれず、かつ医療機関より隔離されているため、疾病に対して日常不安な生活を営んでいるので、教職員とその家族の健康管理を図るためにこの事業を開始し、本年度で2年目を迎えた。

検診項目は、聴打診・血圧測定・心電図・胸部間接撮影・胃部透視・尿理学検査で、公立学校共済組合東北中央病院及び県成人病予防協会の検診車に医師を同乗し、相馬・双葉・北会津・耶麻及び石川・東白川・いわき教育事務所管内のへき地学校教職員800名を対象として実施した。

その結果、受診率は対象者に対し73%受診希望者に対しては93%であった。

検査会場及び受診者数は次のとおりである。

会場	希望者	受診者
相馬郡 草野中学校	30名	22名
飯搗	35	37
双葉郡 津島	41	36
葛尾	33	26